

上里町立小・中学校長寿命化計画 概要版

令和 2年 3月

上里町教育委員会
学校教育課

(1) 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

① 背景と課題

<背景>

上里町の小中学校施設は、昭和40年代から昭和50年代の急激な児童生徒数の増加にあわせて、昭和40年代後半から昭和60年代にかけて集中整備されてきました。これらは本町が保有する全公共施設の50%以上の面積を占めています。その後、小学校の児童数は、昭和61(1986)年度の2,438人をピークに減少しています。また、中学校の生徒数についても昭和63(1988)年度の1,406人をピークに減少しています。

<課題>

この児童生徒数の減少傾向は、今後も続くことが予想されており、この需要減少を踏まえた施設維持が課題となっています。

一方で、前述の高度経済成長期に集中整備された小中学校施設は、今後一斉に校舎の大規模改修や更新時期を迎え、多額の費用が見込まれます。学校施設の長寿命化、及び整備計画策定は、財政負担の軽減、平準化を図るうえで喫緊の課題となっています。

② 計画の目的と位置付け

<計画の目的>

「上里町立小・中学校長寿命化計画(個別施設計画)」(以下、本計画と示す)では、上記の背景と課題を踏まえ、老朽化が進む施設の現状を的確に把握し、実態に即した改修や長寿命化改修などの中長期的な計画を立案します。また、児童生徒数の将来推移や社会情勢等の変化も視野に、今後の学校需要についても併せて検討し、総合的かつ中長期的な小中学校施設の整備計画を策定することを目的とします。

<本計画の位置付け>

上里町公共施設等総合管理計画(総合管理計画)を上位計画とし、小中学校施設を対象に具体的な個別計画を定めます。

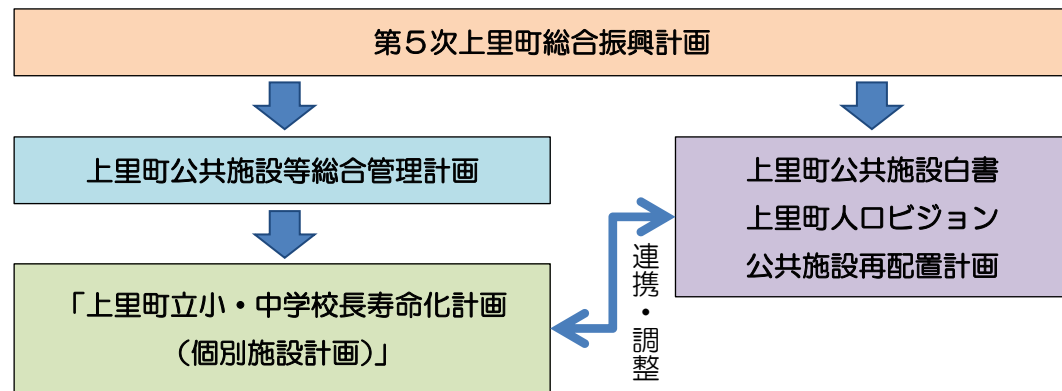


図 1-1 本計画の位置付け

③ 計画期間

令和 2 年～令和 37 年 (5 年ごとに見直し)

上位計画である公共施設等総合管理計画は、計画期間を平成29(2017)年から令和37(2056)年までの40年間と定めています。本計画においても、施設の健全度や劣化状況等の実態把握から公共施設等総合管理計画の計画期間に合わせ、令和2(2020)年度から令和37(2056)年度までの37年間を計画期間とします。また、実施については、施設の老朽化状況等の実態を継続的に把握し、PDCAサイクルによる実行システムを構築します。

さらに公共施設等総合管理計画では、計画の見直しを必要に応じてとしていることなどを踏まえ、本計画では、人口動向に鑑みて5年ごとに見直します。

④ 対象施設

本計画における対象施設を以下に示します。

学校教育施設	
小学校	神保原小学校、賀美小学校、長幡小学校、七本木小学校、上里東小学校
中学校	上里中学校、上里北中学校

上記、及び施設に付帯する全ての設備とする。

- ・小学校施設 5校
延床面積 約22,000m²
- ・中学校施設 2校
延床面積 約15,000m²

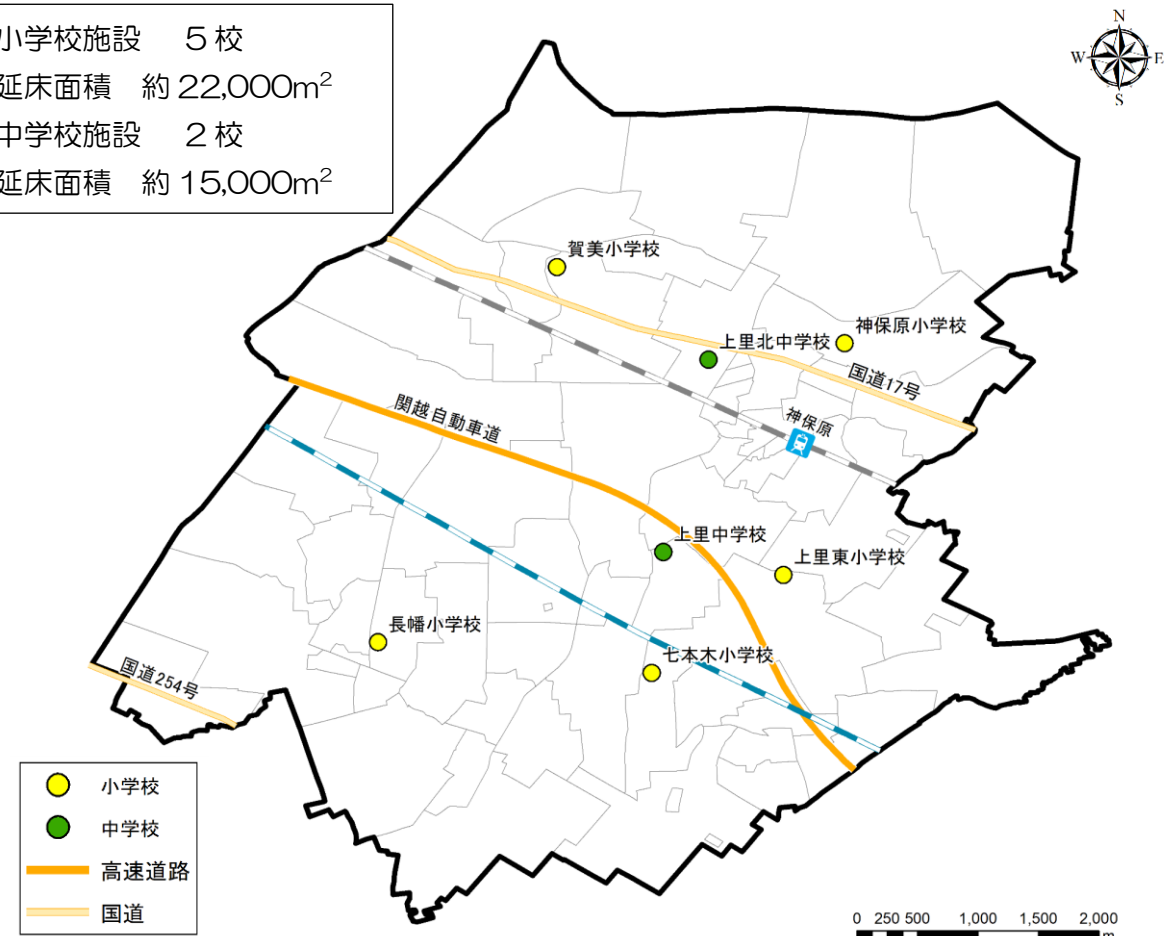


図 1-2 小中学校施設配置図

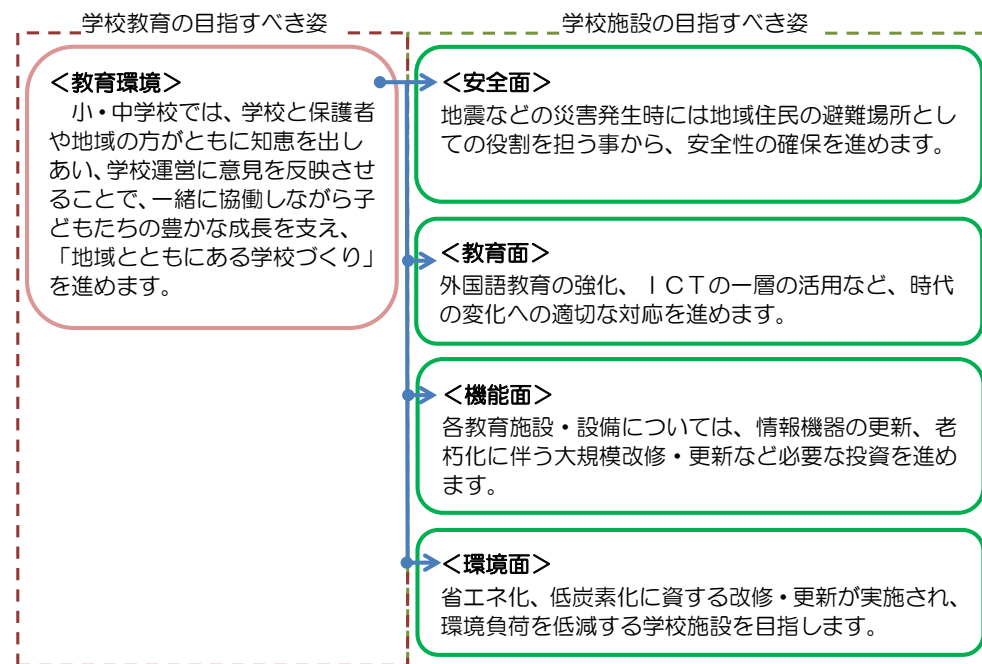
(2) 学校施設の目指すべき姿

<学校教育の目指すべき姿>

学校教育で目指すことは、変動する時代に主体的に対応できる人材の育成です。基本的な生活習慣と確かな学力、健やかな体、豊かな心を育みます。

本町の学校教育の目指す姿を実現するための学校施設とするため、本計画では、以下を本町の学校施設の目指すべき姿とします。

<学校施設の目指すべき姿>



(3) 学校施設の実態

<児童生徒数及び学級数の変化>

本町には、小学校5校、中学校2校の合計7校の小中学校施設があります。令和元（2019）年度時点で、小学校全体の児童数は1,613名、中学校全体の生徒数は910名（特別支援含む）が「豊かな心と活力をはぐくむ」の育成に向けて、家庭・学校・地域の中で共に学んでいます。

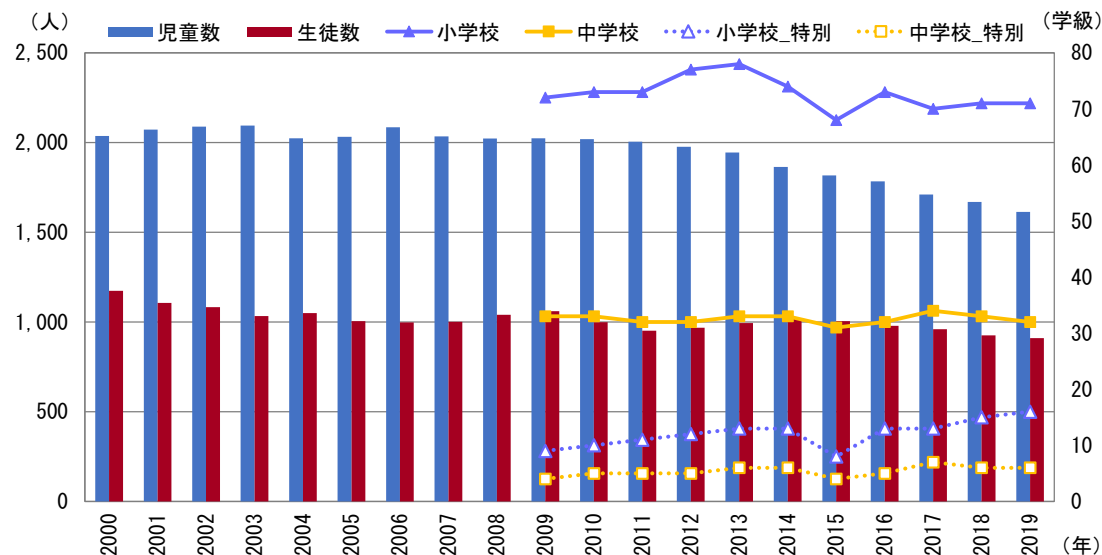


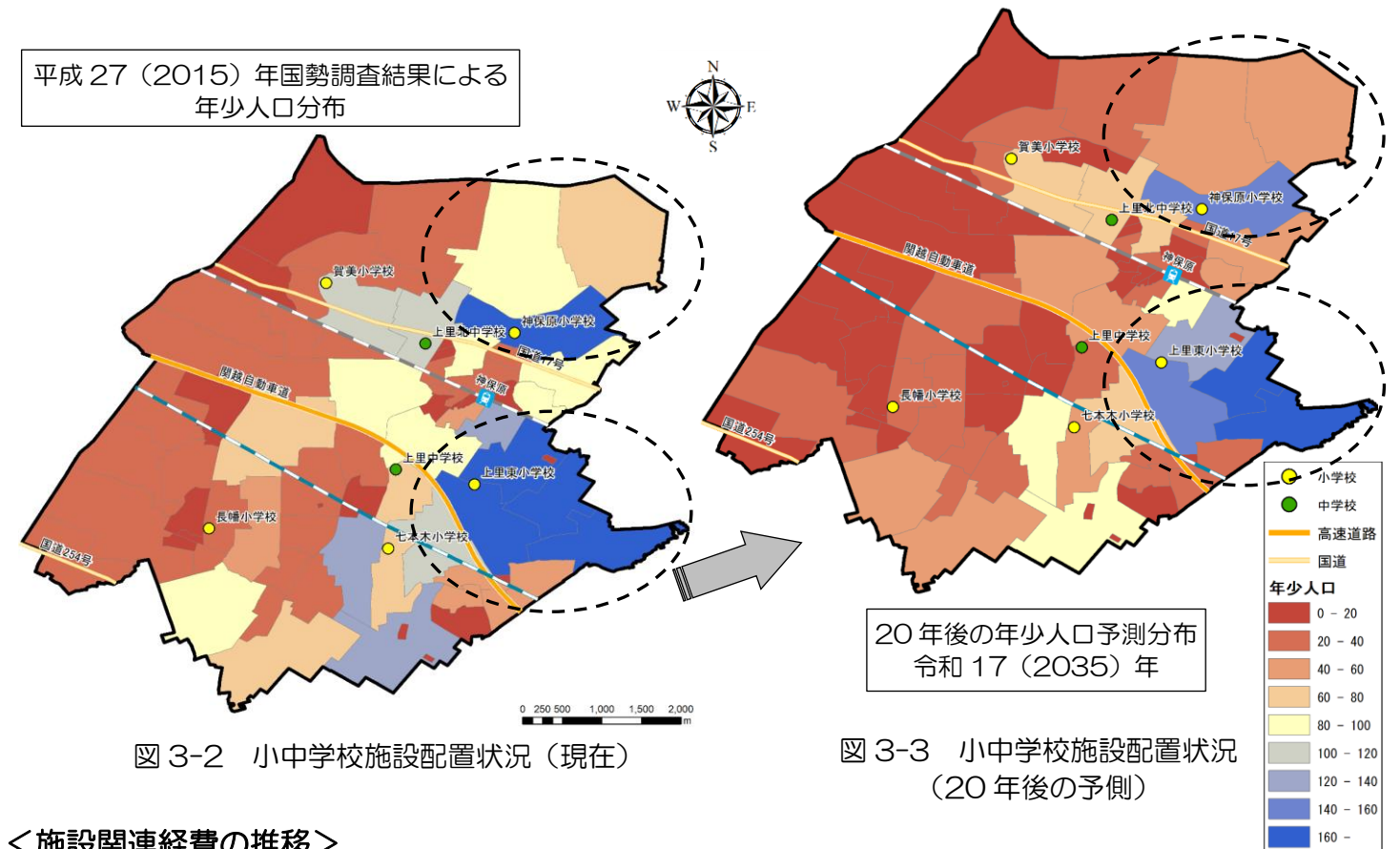
図 3-1 児童生徒数と学級数の推移

<学校施設の配置状況>

本町は、北西部に烏川・神流川があり肥沃な大地が広がっているため、かつては新田の開墾が盛んにおこなわれていました。近年は、周辺都市への住宅供給地としての地域機能が益々高まり、特に東部地域における住宅建設が盛んに行われ大型商業施設が開業するなどして商業も発展しつつあります。

図 3-2 は、平成 27（2015）年に実施した国勢調査の結果を用い、年少人口分布と小中学校施設の配置状況を示したものです。14 歳以下の年少人口が20 人以下（赤色）の地域が見られます。

図 3-3 は、20 年後（令和 17 年（2035）年）の上里町年少人口推計分布です。赤色の範囲が広がり、年少人口は減少していくことがうかがえます。



<施設関連経費の推移>

図 3-4 は、平成 21～30（2009～2018）年度の過去 10 年間における小中学校施設の施設整備費、維持管理費、施設運営費を示したものです。小中学校施設の老朽化の進行により、施設整備費や維持改修費が増加傾向にあります。改修・更新費の1 年当たりの平均は約 3.5 億円となっています。

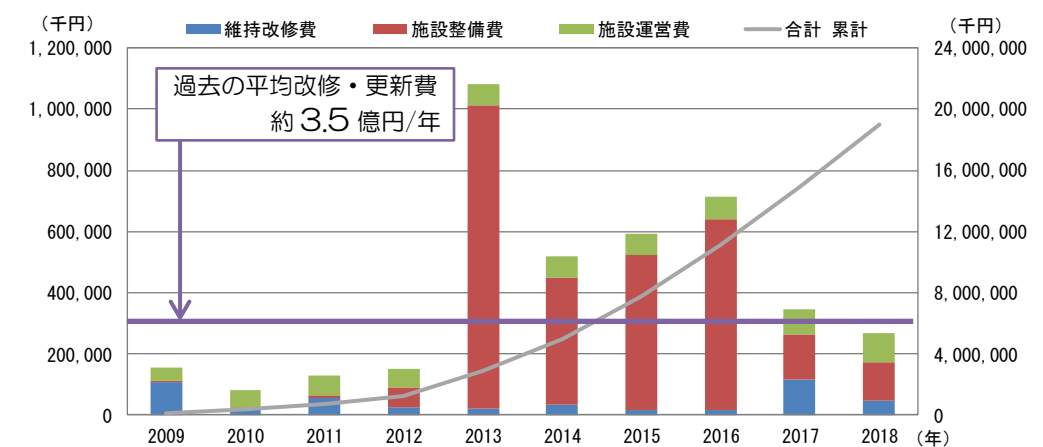


図 3-4 施設関連経費の推移

<学校施設の保有量>

本町の小中学校は、7校全体で27施設を保有しています。建築年次別の整備状況は、昭和47(1972)年から昭和59年(1984)年の間に多く整備されています。これらの施設は建築後35年~47年が経過し老朽化が進んでおり、今後一斉に更新時期を迎える見込みです。また、築40年以上の建築物は全体の約4割以上を占めており、老朽化対策が急務です。本町の旧耐震施設のうち、3棟は耐震診断の結果、耐震性ありと判断され、その他の旧耐震施設では耐震補強が実施されています。よって、耐震化は100%実施されています。

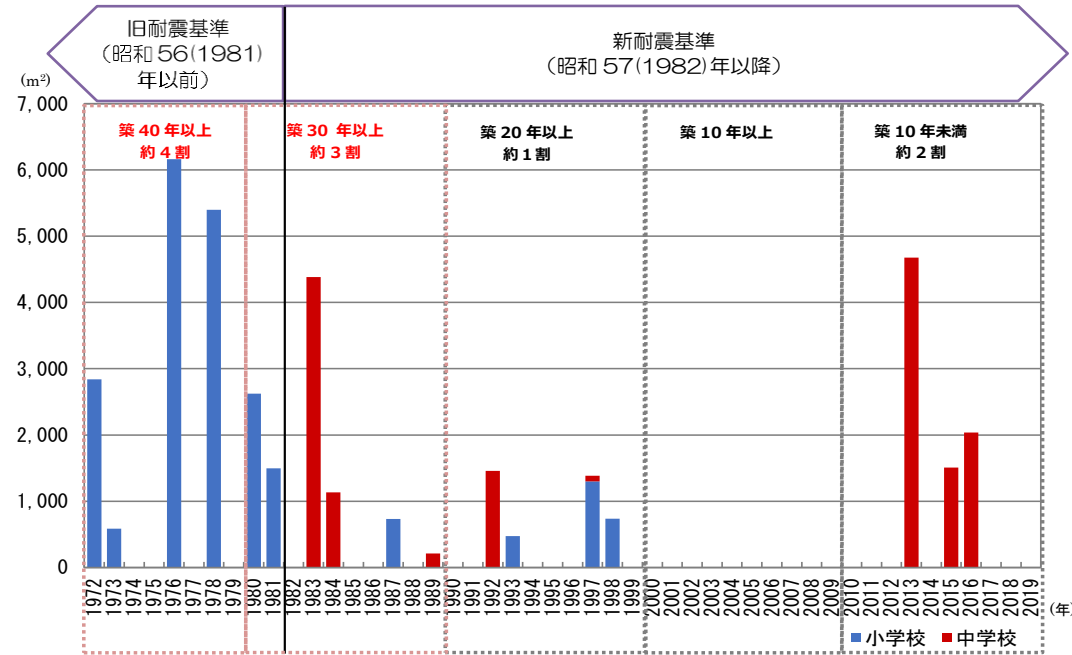


図3-5 建築年別延床面積

<構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価>

小中学校施設の目視による劣化状況調査の結果を表3-1に示します。平成26~28(2014~2016)年度に建替えた上里中学校を除く、小中学校6校では劣化が進行しています。

表3-1 構造躯体の健全性の評価、及び構造躯体以外の劣化状況等の評価一覧

施設No.	棟No.	施設名称	棟名称	構造区分	階数	延床面積(m ²)	建設年		築年数(2019基準)	大規模改修		部位													評価区分
							和暦	西暦		和暦	西暦	概要	屋根	外壁	開口部	内部	電気	給水	排水	空調	防災等	外構			
1	1	神保原小学校	管理・教室棟	RC	4	1,593	S47	1972	47	H24	2012	空調	d	d	c	c	d	a	d	d	a	d	c	D	
	2	神保原小学校	普通教室棟	RC	4	2,622	S55	1980	39	H24	2012	空調	d	d	b	c	a	c	c	a	d	a	D		
	3	神保原小学校	体育館	S	2	671	S47	1972	47	H23	2011	老朽	a	a	a	a	a	-	-	-	a	a	A		
2	4	賀美小学校	管理・教室棟	RC	4	2,700	S53	1978	41	H24	2012	空調	d	c	d	d	b	b	d	a	c	a	D		
	5	賀美小学校	特別教室棟	RC	2	358	H10	1998	21	H24	2012	空調	-	c	c	c	a	a	a	a	-	b	B		
	6	賀美小学校	体育館	S	1	577	S47	1972	47	H23	2011	老朽	a	b	a	a	a	-	-	-	a	b	A		
3	7	長幡小学校	管理・教室棟	RC	4	2,700	S53	1978	41	H24	2012	空調	d	d	c	d	a	c	a	a	-	c	D		
	8	長幡小学校	特別教室棟	RC	2	379	H10	1998	21	H24	2012	空調	-	d	b	c	a	a	a	a	-	b	B		
	9	長幡小学校	体育館	S	2	587	S48	1973	46	H24	2012	老朽	a	a	a	b	a	-	-	-	a	b	A		
4	10	七本木小学校	管理・教室棟	RC	4	2,748	S51	1976	43	H24	2012	空調	d	d	b	d	d	b	d	a	d	d	D		
	11	七本木小学校	普通教室棟	RC	3	747	S56	1981	38	H24	2012	空調	c	d	b	c	d	b	d	a	d	a	D		
	12	七本木小学校	体育館	S	1	662	S51	1976	43	H24	2012	老朽	d	a	c	c	a	-	-	-	a	d	C		
5	13	上里東小学校	管理・教室棟	RC	4	2,754	S51	1976	43	H24	2012	空調	d	d	d	d	b	a	a	a	b	a	D		
	14	上里東小学校	普通教室棟1	RC	3	751	S56	1981	38	H24	2012	空調	d	d	d	d	b	a	a	a	b	a	D		
	15	上里東小学校	普通教室棟2	RC	3	733	S62	1987	32	H24	2012	空調	d	d	b	d	b	a	d	a	b	a	D		
6	16	上里東小学校	特別教室棟	S	1	472	H5	1993	26	-	-	-	-	d	b	b	c	a	-	-	d	-	a	D	
	17	上里東小学校	体育館	S	2	1,298	H9	1997	22	-	-	-	-	d	a	c	b	b	-	-	-	a	c	C	
	18	上里中学校	校舎棟(西)	RC	4	2,054	H25	2013	6	-	-	-	-	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	A	
7	19	上里中学校	校舎棟(東)	RC	4	2,622	H25	2013	6	-	-	-	-	a	a	a	a	a	a	a	a	a	A		
	20	上里中学校	特別教室棟	RC	3	1,506	H27	2015	4	-	-	-	-	a	a	a	a	a	a	a	a	a	b	A	
	21	上里中学校	PC棟	RC	3	1,286	H4	1992	27	H25	2013	空調	d	c	c	c	a	a	a	c	a	b	a	C	
7	22	上里中学校	体育館	RCS	1	2,035	H28	2016	3	-	-	-	-	a	a	a	a	a	a	a	a	a	A		
	23	上里北中学校	管理・教室棟	RC	4	4,383	S58	1983	36	H24	2012	空調	b	d	b	d	a	a	d	a	c	c	C		
	24	上里北中学校	コンピューター教室	S	1	170	H4	1992	27	H24	2012	空調	-	b	b	c	a	-	-	-	a	-	a	B	
7	25	上里北中学校	柔剣道場	S	1	209	H1	1989	30	-	-	-	-	d	c	a	c	a	-	-	-	c	a	C	
	26	上里北中学校	会議室	S	1	87	H9	1997	22	H24	2012	空調	a	a	a	c	a	-	-	-	-	-	a	A	
	27	上里北中学校	体育館	S	2	1,132	S59	1984	35	-	-	-	-	d	a	b	c	b	-	-	-	-	a	C	

※上里町公共施設劣化調査業務報告書(平成29(2017)年12月)より「現況劣化区分」を一覧表にまとめたものである。
※A~Dは施設全体の劣化評価、a~dは部位の劣化評価を示す。

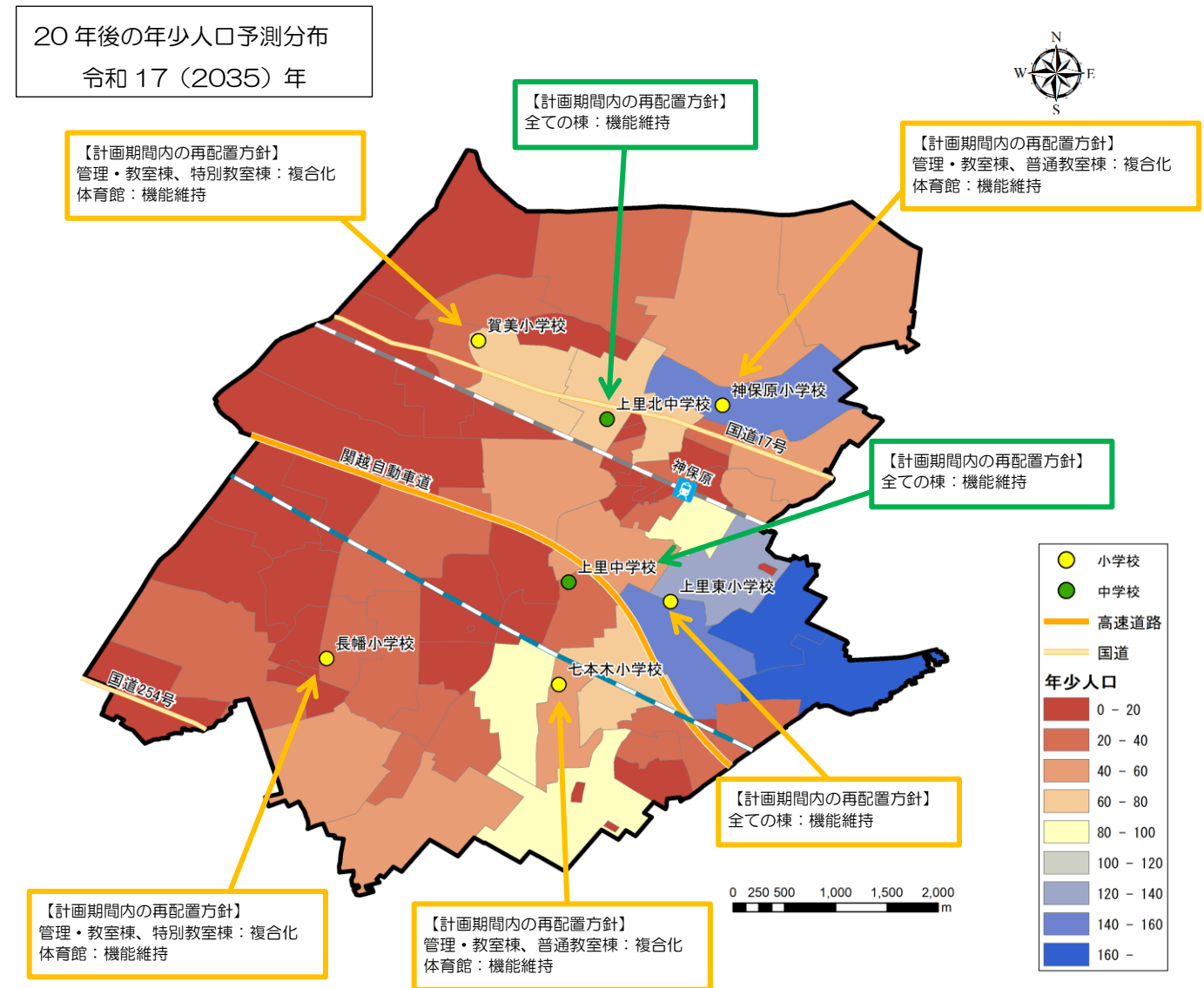
劣化評価	
A(a)	健全な状態
B(b)	劣化が認められる状態
C(c)	改修を早急に検討すべき状態
D(d)	改修を早急に実施すべき状態

(4) 学校施設整備の基本的な方針等

<学校施設の規模・配置計画等の方針>

学校施設の配置状況に示す通り、本町の全7校の小中学校施設は、今後20年の間でほとんどの地域で年少人口が減少する予測となっています。また、多くの施設が建築後35年~47年が経過し老朽化がさらに進行していくことも鑑み、改修や更新に当たっては関係部門と連携し、多機能化や他の施設との複合化、小中一貫校の設置、及び統廃合などによる適切な利活用方策を検討する必要があります。

図4-1に上里町公共施設再配置・維持保全計画(令和2(2020)年3月)で示される各学校の今後の再配置方針を示します。



- 【小学校】
- 全小学校が設備及び施設の老朽化が進行しており、施設利用上の安全と衛生を確保するために機能回復改修を実施します。
 - 機能回復改修に併せ、余裕教室等の空間を利用し、各地域の児童館の放課後児童クラブ機能の集約を図ります。
 - 集約建替えの必要性を検討し、既存延床面積の約7割までの縮減を図ります。
- 【中学校】
- 上里中学校は、経常修繕の実施等により適切な施設の維持管理を行い、維持管理を図ります。
 - 上里北中学校は、設備及び施設の老朽化が進行しており、施設利用上の安全と衛生を確保するためにも機能回復改修を実施します。
 - 集約建替えの必要性を検討し、既存延床面積の約8割までの縮減を図ります。

図4-1 学校施設の再配置方針

(5) 長寿命化の実施計画

<長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果>

今後も従来のように対処療法的に維持・更新を実施していく場合（従来型：事後保全型）と、劣化の状態を確認しながら、予防的な修繕を行って施設の長寿命化を図る場合（長寿命化型：予防保全型）について、今後、必要となる費用の推計を図5-1に示します。

なお、長寿命化型の施設更新費には、先に示した既存延床面積の縮減を考慮しています。

従来型では、今後37年間の年平均コストが約3.0億円となっています。長寿命型では、今後37年間の年平均コストが約2.3億円となり、財政の改善が期待できます。

図3-4で示したとおり、過去10年間では年平均で約3.5億円のコストをかけてきました。従来型でも、過去の平均予算内になっていますが、財政の改善や予想外の修繕などにも備え、小中学校施設の維持・更新は長寿命化型の管理へ転換していきます。

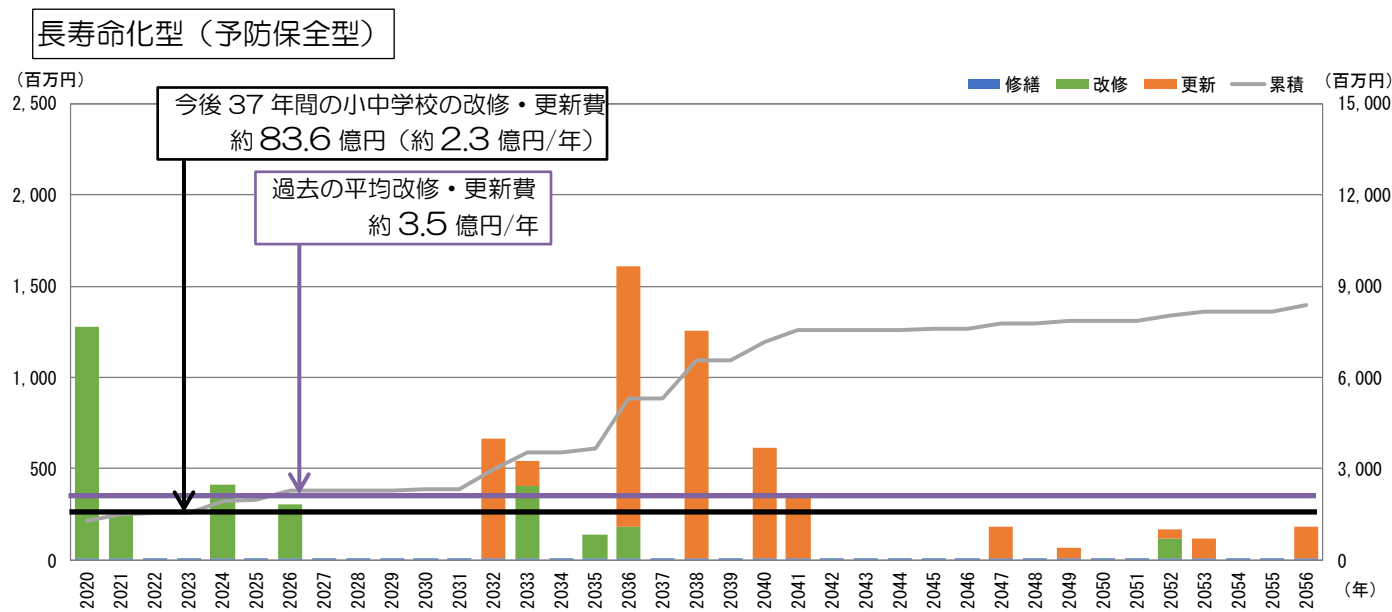
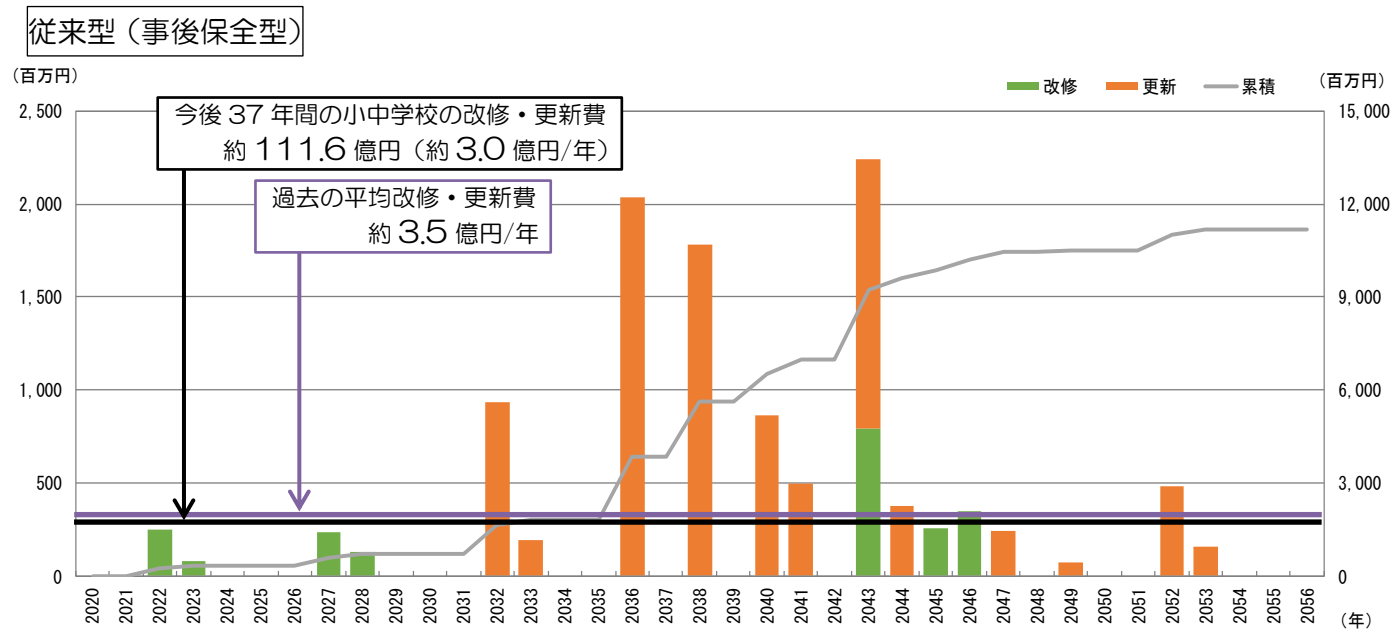


図5-1 従来型と長寿命化型の比較

<改修等の実施計画>

図5-1 長寿命化型の費用推計でも、これまでに十分な改修や更新を実施してこなかったことから、必要な改修が2020年に集中してまいります。2020年の改修費の総額は、過去10年の年平均約3.5億円をはるかに上回る金額（約13億円）となります。これでは、実態に即した実施計画とはなりません。

そこで、施設・部位ごとの劣化の現状や重要度の違いを考慮し、毎年の改修費用が平準化するように実施計画を策定します（表5-1）。

なお、改修や更新工事は工事期間が長くなることや長期休みを利用した実施が必要となるため、具体的な実施に当たっては、改修や更新の設計段階で調整していきます。

表5-1 今後10年間における改修・更新の実施計画

施設名	棟名称	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11
神保原小学校	管理・教室棟 普通教室棟 (体育館) 設備等								計画改修 複合化	計画改修 複合化	
賀美小学校	管理・教室棟 特別教室棟 (体育館) 設備等						計画改修 複合化	計画改修 複合化			
長幡小学校	管理・教室棟 特別教室棟 (体育館) 設備等	計画改修 複合化	計画改修 複合化								
七本木小学校	管理・教室棟 特別教室棟 (体育館) 設備等			計画改修 複合化	計画改修 複合化						
上里東小学校	管理・教室棟 普通教室棟 特別教室棟 体育館 設備等 校舎棟					計画改修	計画改修			計画改修	計画改修
上里中学校	特別教室棟 PC棟 体育館 設備等										
上里北中学校	管理・教室棟 コンピュータ教室 柔剣道場 会議室 体育館 設備等		計画改修	計画改修							

※（ ）で示す棟は今後10年間において、改修・更新の実施がない棟である。

※上里東小学校については、2024、2025年は体育館、2028、2029年は管理・教室棟、普通教室棟、特別教室棟の計画改修である。

次に、今後 10 年間における改修・更新の実施計画（図 5-1 の長寿命型グラフ 10 年間分を再掲）のグラフ（図 5-2）と平準化したグラフ（図 5-3）を示します。

これまで改修や更新を実施していない施設・部位が令和 2（2020）年に集中し、過去 10 年の年平均約 3.5 億円をはるかに上回るグラフ（図 5-2）が、平準化することで過去 10 年の年平均内に収まるグラフ（図 5-3）となり、今後 10 年間の改修については、財政面において実施可能となる見通しです。

なお、本計画以降も改修・更新に備え、継続的な予防保全が実施できるよう定期的な見直しと取組を行っていきます。

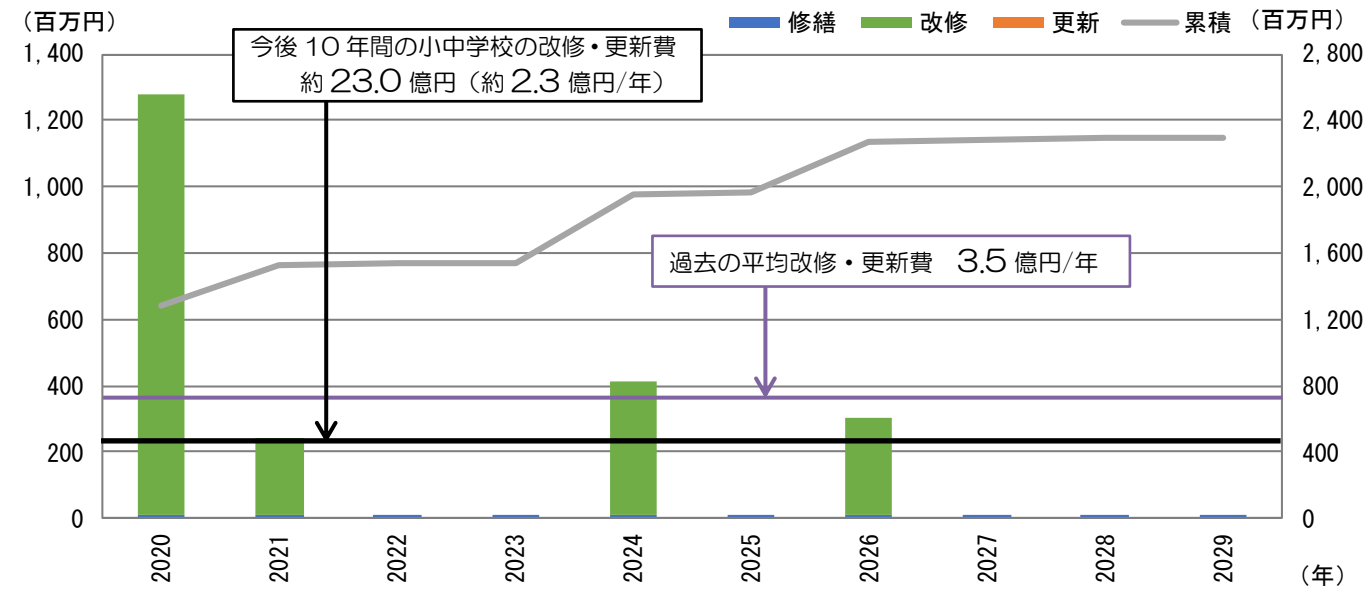


図 5-2 長寿命化改修・更新費コスト(10 年間)

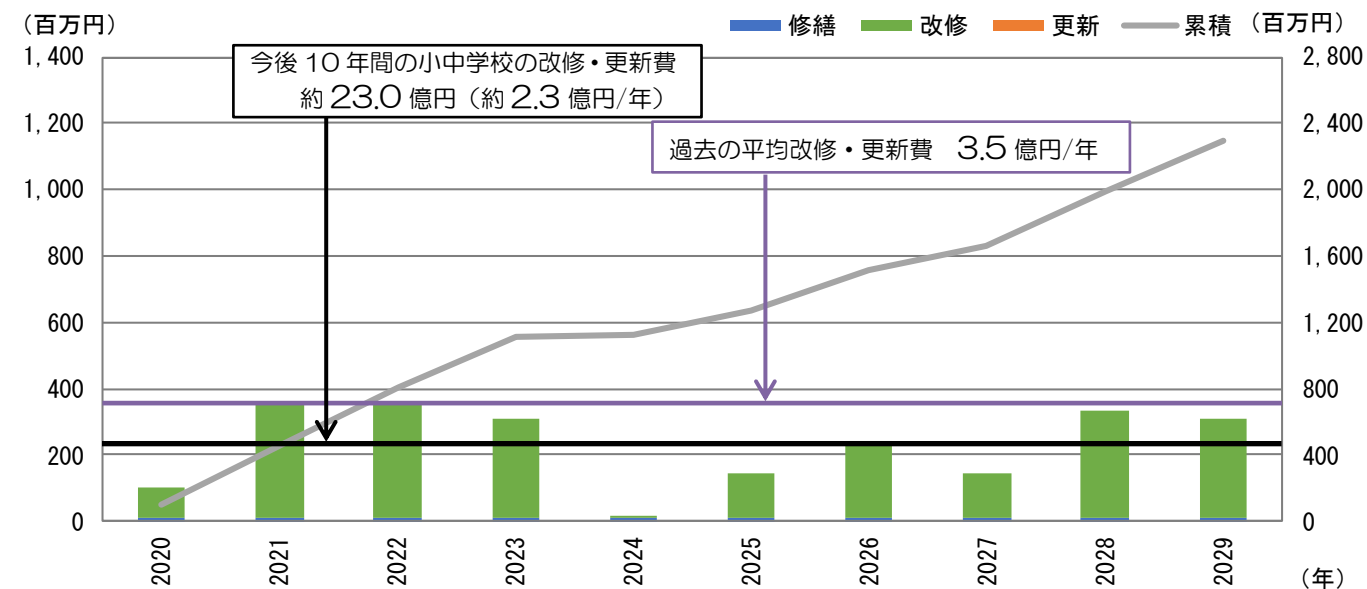


図 5-3 長寿命化改修・更新費コストの平準化(10 年間)

<継続的な実施>

小中学校施設の安全・安心の維持・向上や、財政負担の低減を実現していくためには、長寿命化計画を継続的に実施していくことが重要です。また、施設の劣化度や財政状況、地域のニーズなどは時々刻々と変化するので注意していきます。

<今後の方針>

財源と更新コストの乖離解消や継続的な計画実施を実現するための具体的な改善策を下記に示します。

具体的な改善策	
減築	<ul style="list-style-type: none"> 施設更新時には、将来の児童生徒数の推計や地域ニーズをふまえ、現状の延床面積、建築面積より小規模にすることを検討する。
多目的活用による小中学校施設環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校施設の統合や他の公共施設との複合化について、具体的に検討する。
公民連携、民間資金の活用	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校施設の統合や複合化等に公民連携手法（PFI、リース）の導入を検討する。
PDCA サイクルの導入	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な劣化調査を実施する。 小中学校施設の定期的な修繕計画を更新する。

図 5-4 今後の改善に向けた取組



上里町立小・中学校長寿命化計画

令和 2 年 3 月
 上里町教育委員会 学校教育課
 〒369-0392 埼玉県児玉郡上里町大字七本木 5518
 TEL: 0495-35-1246
<http://www.town.kamisato.saitama.jp/edu/>